

横浜市立茅ヶ崎小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○学校教育目標を実現するために、子ども一人ひとりを大切にしながら活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。	
・自己をコントロールする力と規範意識、を身につけるとともに、自己肯定感と自己有用感を感じることが出来る子どもを育成します。	
・学ぶことの楽しさ、体験することの楽しさを実感できる授業を目指し、教師力・授業力の向上を図ります。	
・地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。	
・校舎内外の美化と安全の確保に努めます。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

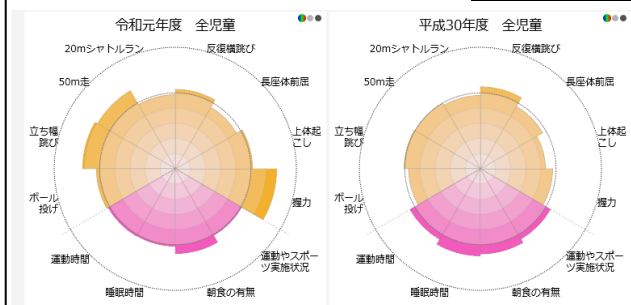
重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	D 部会	新型コロナウイルス感染症予防に重点をおき、手洗いに全校で取り組む。一校一実践運動等を通し、たくましく健康な体づくりを目指す。食育の充実を図る。	① 学校保健委員会等の活動を通して新型コロナウイルス感染症予防に重点をおき、手洗いに全校で取り組み、感染予防を心がけて生活しようとする意識を高める。
			② 一校一実践運動などを通して、児童が運動に親しむ機会や場所を確保し、健康な体づくりと体力の向上を目指す。
			③ 栄養教諭、養護教諭等と連携しながら食や健康に関する活動を行う。

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・毎日朝食をとっている児童が約9割だが、全く食べないと回答した児童が数名いる。
- ・毎日8時間以上の睡眠をとっている児童の割合は学年が上がると低くなっているが、6時間以上の睡眠をとっている児童は9割を超えている。
- ・外遊びが好きな児童が多く、男子は約7割、女子は約5割の児童が地域の運動クラブに所属している。
- ・健康のために運動は大切だと理解している高学年児童が8割以上いる。
- ・学年が上がるとつれて運動への親しみ、体力という点において、二極化の傾向がある。
- ・手洗いやうがい習慣化している児童が多く、健康・安全についての興味関心が高い。
- ・学校保健委員会による取組によって、児童の中でよい姿勢で生活しようとする意識が育ちつつある。
- ・保健室の利用状況については、不注意による転倒や衝突によるけがで来室する子どもが多い。また身体的不調の背景に心の不安を抱えている子どももあり、養護教諭や専任教諭が対応している。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のための休業中の影響により、運動が不足したため体力が落ち、怪我につながっている。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



令和元年度の新体力テストの結果から、多くの項目で市平均と同等かそれ以上の数値が記録されている。中でも、握力、瞬発力がよく身につけていると考えられる。しかし、男女ともに長座体前屈と20mシャトルランでは、市の平均を下回っているため、本校児童柔軟性と持久力に課題があるといえる。体育の学習でのストレッチや短縄での持続運動を通して、これらの力を補っていく必要があると考えられる。

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・運動の特性にふれながら、基本的な動きや技能、運動の行い方の知識を身に付けられるようにする。
- ・学習の中で友達と積極的に話し合ったり、かかわったりしながら、自分や友達によさに気付いたり、伝えたりする機会を設ける。
- ・運動の楽しさやできる喜びを実感し、運動の日常化につなげられるようにする。
- ・養護教諭や栄養教諭と連携しながら、健康に過ごすための正しい知識を身に付け、日常生活へ生かせるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、食に関する指導を充実させる。
- ・国語科では、話す・聞く活動を学習の中に日常的に位置づけ、自分の考えを豊かに表現できるようにする。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・運動委員会では、全校児童がより運動に親しめるように、体育的活動を企画・運営する。
- ・保健委員会では、健康に関する興味や関心が高まるような取組を行う。
- ・運動会や球技交流会では、体育科で培った資質・能力を発展させ、友達と共に運動する心地よさを感じられるようにする。
- ・生活科や総合的な学習の時間では、児童が主体的に学習を進められるように材の選定や提示の仕方を工夫し、自らの考えや思いを積極的に表現し、課題を解決していけるようにする。
- ・学級活動での健康教育や安全教育、食教育をより一層充実させるようにする。
- ・学校保健委員会において、健康の保持増進に関する取り組みを推進するようにする。

課外活動

- ・養護教諭を核とした健康に関する正しい知識を身に付けるための保健指導
- ・栄養教諭を核とした健全な食生活を営む態度を育むための給食の時間を利用した食の指導
- ・運動・健康に関する情報の家庭との共有(健康手帳の活用)
- ・学校保健委員会に向けた全学級での取組(新型コロナウイルス感染症予防)

令和3年度 茅ヶ崎小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 ちがさきっ子 体力アップ大作戦

《ねらい》 体育・健康に関する活動を日常的に位置付けて取り組むことで、児童が体力を高める運動を日常生活の中に取り入れようとする態度を育て、健康の保持増進や体力の向上を図る。

《内容》

- ・体育学習の始めの時間における学年の実態に応じた短縄運動の実施(3分間持続)
- ・運動委員会が企画する運動集会の実施
- ・保健委員会が企画する学校保健委員会と連動した全学級における取組
- ・休み時間の体育館開放による運動機会の確保

- 指 標：①新体力テストの各種目の数値や生活実態調査、体育科基本調査から検証する。
②市学力・学習状況調査の意識調査と子どもの活動の状況との分析